東海のNPO訪問

住まいのホームドクター/設計者の会

住まいづくりの悩みを解決

〝住まいに関する町医者でありたい〟という思いから設立された、住まいのホームドクター/設計者の会(名古屋市中区葵一ノ二七ノ三二　カイフビル三階、電話052・933・3103、http://www.sumaidoctor.or.jp)。〝住まいは買うのではなく、つくるもの〟で、だからこそ建築士のような専門家と一緒に進める、納得のいく住まいづくりを提唱している。事務局長の小川尚志さんに話を聞いた。

無料電話相談

数年前から悪質なリフォーム業者によるトラブルが多発し、社会問題にもなった。それまで設計事務所は、他社が造った住宅のリフォームに積極的には関わらない傾向があったという。そうしたことが消費者の被害を助長していた一面もあったのではないかという思いから、設計事務所の建築士らが集まり、立ち上げたのが住まいのホームドクター/設計者の会だ。当初は任意団体でリフォームでのトラブル解決に重点を置いていたが、建て替えや新築にも目を向け、平成十六年に「リフォーム、または新築する消費者に対して、消費者の総合的な支援を行い、設計者及び施工業者の不当な業務の被害者とならないように寄与する」ことを目的にNPO法人化した。

住まいのホームドクター/設計者の会
住宅改修セミナー&相談会
後援:愛知県

名古屋市総合リハビリテーションセンターでの福祉リフォームのセミナー&相談会

建築の専門家が相談対応

現在、参加している一級建築士、設計事務所代表は約百五十人。事業の一番の柱は「住まいの無料電話相談」だ。祝日を除く月曜日から金曜日までの平日、午前十時〜午後五時に052・933・3103で受け付けしている。「悪質商法や悪質業者の見分け方」「リフォーム工事のトラブルと対策」「工事契約の知識」「シックハウス」「耐震補強の知識」「工事施工業者の選び方」「設計者の選び方」などさまざまな相談に応じてくれる。例えば、リフォームなどでのトラブルを避けるためには、見積もりは一式見積もりではなく、工事明細の付いたものを請求すべきだといったアドバイスをしてくれる。

電話での無料相談は三十分以内が目安となっていて、相談内容によっては事務所まで来てもらい、対面での有料相談(三十分五千円)を勧めることもある。また、現地に行っての出張相談(一日五万二千五百円)も可能。

福祉リフォームに

「住まいづくりセミナー」をこれまで二回開催している。一般市民を対象とした、住まいに関するセミナーだ。一回目は「建てて　いい家悪い家　リフォームや新築に失敗しない方法」というテーマ、二回目は「住まいの中の電磁波」というテーマだった。今年九月には三回目を開催予定で、テーマなどは現在検討中とのこと。

一般の人に対しては他にも「住まいの相談会とパネル展」を実施。住まいに関して無料で相談に応じ、会員の設計した住宅や住まい方の提案など住まいづくりの情報をパネル展示するというものだ。キッチンハウス、TOTO、ベルックスの各ショールーム、小牧アピタなどを会場としてきた。

住まいの相談会とパネル展の会場

さらに昨年から介護保険住宅改修・身体障害者住宅改修のセミナー&相談会を始めた。これは愛知県住宅企画課との協働事業だ。名古屋市総合リハビリテーションセンター、中部労災病院、上飯田リハビリテーション病院などの医療機関で、患者やその家族、ケアマネージャーらを対象に行っている。

また、「住まいの研修会」を毎月一回開催している。これは会員である建築士らの資質と技術の向上を目指して開いている講座で「木造の耐震について」「家屋のシロアリについて」「中越地震の被害状況説明会」「アスベスト対策について」など、さまざまな内容で講義を行っている。今年の八月の第四十六回から十二月の第五十回までは「木造住宅の免震・制震・耐震」というテーマを五回連続シリーズで開講。また、ゆくゆくは一般消費者が参加できる研修会も開催したいという。

こうしたセミナーの開催などに加え、会ではNPO法人化する直前に、住まいづくりの情報を盛り込んだ書籍「失敗しないリフォームQ&A」も発刊。八月末には内容を濃くした第二弾を発行する予定だ。

失敗しないリフォームQ&A
リフォームに役立つ

リフォームに役立つ「失敗しないリフォームQ&A」を発刊